

## 今月の内容

銀行口座開設 パムツカレ旅行  
大統領選挙 など

こんにちは。持ち帰るの大変だろうなと思いつつトルコランプと香水瓶を沢山買ってしまっただけです。きれいだからしょうがない。持ち帰り頑張ります。

残りの滞在期間がわずかになり、月例報告書も今回分除き残り1回となりました。時間が経つのが早いです。

私の場合、イカメットを持っているため見つけたイカメットなしの開設方法でいいのかわからなかったこと、またその方法では時間が数日かかりめんどくさくなったので直接学校の近くのZiraat bankasıに行きました。事前にその銀行の口コミをgoogle map見たところ、外国人でも開設できたというコメントがあったため門前払いはされないだろうと思いつつ、その銀行で口座を作ることを決めました。

自分はイカメット、パスポート、そして住所・電話番号・メールアドレス・両親の名前・どのような口座を開きたいのか・銀行アプリと口座の同期の申し込みを希望する旨を書いたメモを準備しました。

そして銀行に向かい、受付番号を発券する機械のそばにいた警備員に「新しい銀行口座を開きたい」とトルコ語で伝えイカメットを渡して発券してもらいました。しばらくして番号が呼ばれ、担当の人に新しい口座の開設を話したところここじゃないので待っててくれとしばらく待たされることになりました。

しかし何十分待っても呼ばれなかったのが他の銀行員や受付番号の発券してくれた警備員にまだ呼ばれないと話したところ（ここは私のトルコ語力が足りなかったのが英語と翻訳アプリで何とかした）、新しく何故か受付番号が発券され別の場所に呼ばれそこで手続きをすることになりました。

担当の銀行員に用意したものを渡してあとは説明を聞き、サインなどしました。ATMカード、口座とアプリの同期は他の窓口で対応とのことだったので言われた場所に行き、銀行員とパスワードやカードの種類のやり取りをしました。

もし銀行口座を作る場合は誰かしらトルコ語がわかる人を連れて行った方がいいと思います。私は急に決めたため友達に頼むことを忘れていました。でもやろうと思えば一人でもできます。

アプリ同期のデポジットとして5リラ（大体35円くらい）を払いました。カードの種類は即日発行のもの、後日郵送される名前入りの2種類ありました。急ぐ必要はなかったのが名前入りのものを希望したのですが、なんと3週間過ぎても届きませんでした。どういうこっちゃと思い銀行に行ったところ申請されてなかったようです。結局名前無しのATMカードを貰いました。



上の写真に写っているのが通帳。はがして中の内容を見るのがぎに似ています。Vadesizとは口座の種類で、普通預金みたいな感じ。

## 銀行口座開設

まず、トルコの銀行口座を開いた理由は寮に支払ったデポジットの払い戻しに必要だったためです。渡航前に送金サービスWISEを使用し、滞在費とデポジットを支払いました。帰国までわずかとなったためデポジットはどのように返金されるか聞いたところ私の銀行口座のIBANを教えてくださいればそこに返金すると言われました。このIBANとはInternational Bank Account Numberの略で、銀行口座情報の判別コードとしてヨーロッパや中東で使われています。残念ながら日本では使われていないためトルコ滞在約8か月目にして銀行口座を作ることに。

銀行口座を作る前にインターネットで実際に作った人の情報を集めたところ、対象がイカメットを持っていない外国人向けのものしか見つかりませんでした。イカメットを持っていない場合、国営銀行の一つ、Ziraat bankası（ジラートバンク）で開設方法は省きますが口座開設ができるようです。

## おにぎりDAY

日本語の授業で仲良くなった韓国文化や日本などの文化が好きな友達とトルコのお菓子、Pişmaniye

（ネットだとピシュマニエ、私にはピシュマニエに聞こえる）の会話をしていた時、急に「おにぎりを作って食べてみたい」と言ってきたのでじゃあそのお菓子を食べてことないからおにぎりと交換しよう！ということで急遽おにぎり講座「おにぎりDAY」を開くことに。おにぎりだけだと栄養が偏るなと思い、ヒガシマルのうどんスープを使ってきゅうりの漬物とだし巻き卵を作り、お米は炊いたものをタッパに詰めてラップとふりかけをも持って学校のラウンジでおにぎりを作り、食べました。ふりかけはのりたまが好評でしたが、

漬物とだし巻き卵の方がウケが良かったです。後日別のfriendsが「僕・私の分は？」…ということで第2回おにぎりDAYも開催しました。



まさか一人暮らしで鍛えた丸いフライパンできれいにだし巻き卵を作るスキルが役に立つとは思いませんでした。だし濃い目にしたのですが、オムレツだわ！とあまり気付けてなさそうでした。

貰ったPişmaniye（右）。綿菓子のようなお菓子です。このPişmaniye、実は「後悔」という意味。作り方がかなり大変そうなので作るのに後悔からきているのか、それとも別からきているのか...。おいしいのですが一人で食べきれない量で...しかもこれを2箱も貰ってしまった...

## ≫パムッカレ旅行

今月、TCDD(トルコ国鉄)を利用してパムッカレに行ってきました。Selçuk(セルチュク)にあるEfes(エフェソス遺跡)を観光してから列車に乗ってパムッカレのあるDenizli(デニズリ)へいく予定をたてました。予約なしで列車の席に座るのは困難なため席を事前に予約することになりました。インターネット上でどの列車のどの席を予約するかを決めることができます。私は順調に時間や席を予約し、残るは支払い…というところでクレジットカードが使えないという問題が発生。トルコでオンライン決済をしようとしても決済ができないということがあります。カードがロックされているというわけではなく、おそらく海外のクレジットカードだからなのかもしれません。そのため直接事前にTCDDの駅があるBasmane(バスマーネ)へ買いに行くことにしました。

Basmaneの窓口のおじさんに乗りたいたい電車、乗る人のパスポートや性別、年齢など情報を書いたメモを渡してチケットの発券をしてもらいました。大人一人で72リラですが、私は13-26歳のGenç(若いという意味)の区分に当てはまるため62リラでした。ラッキー。

と予約したおかげで、無事Denizliまで座って列車で3時間半移動できました。そこからdolmuş(ドルムシュという乗り合いバス)に20分ほど乗ってパムッカレに到着しました。すでに夜だったためホテルに泊まりました。

次の日の早朝気球が浮いているのを目見て二度寝したあと、朝食を食べてパムッカレの石灰棚を見に向かいました。

パムッカレと言えば白い棚田のような石灰棚に溜まる青色の温泉が有名ですが、行く前に調べたところホテルの開発ラッシュの影響で水が抜けているということを知りました。実際行ってみたところこんな感じでした。



…確かによく見る画像とは違うので事前情報が無ければかなり驚くと思います。この写真の石灰棚のようなものはコンクリートで補強されていました。ただ石灰の床の模様や石灰棚を登ったところにあるアンティークプールや古代円形劇場が素晴らしかったので行けて良かったと思います。

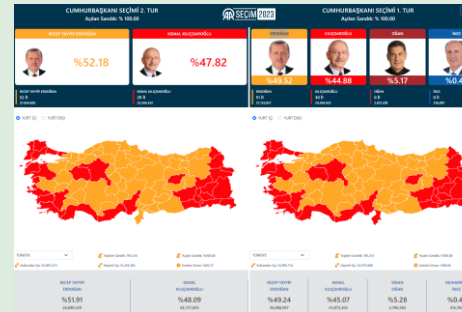


左はアンティークプール。入るのは有料でしたが、久しぶりにお湯につかりました。水温はぬるかったです。日本帰ったら湯船にとりあえず浸かりたいです。

帰りは電車ではなくバスでイズミルに帰りました。

## ≫大統領選挙

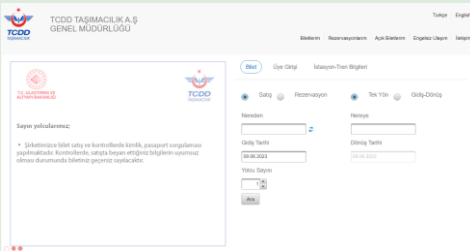
5月14日に行われたトルコの大統領選挙は人が集まり危険なため外に出ないよういろんな人から言われて引き籠っていました。候補者は4名いましたが、再選を目指すERDOĞAN(エルドアン)氏とKILIÇDAROĞLU(クルチダロールに聞こえるクルチダルオール)氏の事実上一騎打ちとなっていました。開票作業は時間がかかり最初はエルドアン氏がリードしていましたが、クルチダルオール氏が追い上げどの候補者も過半数に届かずこの2名の決選投票になりました。決選投票は28日に行われ、結果エルドアン氏が当選しました。



<https://secim.aa.com.tr/>より

日本と比べ政治への関心が強く、トルコでこういった話をするのは珍しくなく、友人たちに日本では政治の話はめったにしないし、関心のない人が多いと話す。「今が最悪だから自分たちが関心を持たざるを得ない、日本は最悪の状況じゃないからそうする必要はないだけだよ」と言われてしまいました。トルコなら最悪の状況じゃなくても関心を持っているだろうし、日本の政治の関心のなさに少し恥ずかしさを覚えました。トルコの経済状況はだんだんと悪くなってきており、友人たちはそれを替えるために別の人に投票すると言っていました。彼らにとっては残念な結果になり、人によってはInstagramで「ギリシャに逃げるか」という投稿もありました。選挙の結果を見ているとヨーロッパ側やクルド系が多い東部、そして外国ではクルチダルオール氏の支持者が多く、地震が起きたガジアンテプはエルドアン氏支持者が多いことに驚きました。地震対応の批判すごかったのに…。

以上、5月の報告でした。次回は最後の報告書になります。おそらく6月に起きたこととまとめになると思います。それでは、sonra görüşürüz。



<https://ebilet.tcddtasimacilik.gov.tr/view/eybis/tnmGene/tcddWebContent.jsf>より

TCDDのサイト。英語にも切り替え可能ですが、一部がトルコ語のままだったりすることがあります。